

介護体験を 聞く会




ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第205号
平成31年2月15日発行
発行所…(有)明寿会
住所…川崎区中島1-13-3
電話044-2333-0061
*2月は23日(土)です

第203回介護 体験を聞く会 「定例会」

平成31年1月26日
(土)三々五々館で開催

議題
①在宅介護になって環境変化が与える影響について考えます。

②グループホーム運営推進会議

③デイサービス・デイケア・グループホーム家族相談会

④新年の介護体験を聞く会の方向を検討します。

*参加者職員…院長・柳田ケアマネ・柏倉・杉山・板井・周藤・高橋(み)・田淵・飯田
家族…藤田様・野々目様・森下様

①事例検討

検討の目的…家庭での環境が変わり、地域との関わりが減り、怪我を機に悪化してしまった認知症。知らない人が来たり、環境が変わると不安になる事があり、環境に慣れるまで時間がかかる事が、普段は明るい方ですが、物をどこに置いたか忘れてしまい、家を出る時に慌てる事があります。デイサービスを利用してからのご本人様の変化や様子を地域と連携したケアを考えて行きたいと思えます。

〈生い立ち〉

Eさん、昭和12年4月21日生まれ、81歳、出身地…山梨県、趣味…編み物、性格…心配症・神経質・人に慣れるまで時間がかかる
山梨県出身、味の素社宅調理と売店のお仕事をさ

れていました。料理や家事のお手伝いをされているとの事でした。平成29年9月にデイサービスの利用を開始する。

*自宅での様子

2世帯住宅で1階にご本人様が過ごされています。2階には次男様が住まれている。毎日、自炊や洗濯をして買い物にもご自身でしています。重い物、米等は次男様が購入、家中ではテレビを観て笑ったりしている事はありますが、ベッドに横になり寝てしまう事もあるようです。また最近、食事があまり摂れていない事を心配して、カロリーのあ

るゼリーや飲み物を「1日1個食べて」と次男様がお伝えしているのですが、2個食べてしまう事があつたりするようです。認知症の進行したと思

われた時>

認知症の進行は緩やかに少しずつだったのですが、次男様の奥様が亡くなった事や地域の方との関わりが少なくなった事、一番はご自身の入院が大きくなり、認知症の進行が進んでしまいました。家で話す相手が居なくなつてしまい、地域で好きだった踊りの機会が減ってしまった事で家に居る事が多くなり、家族以外の方と会話をすることはほとんどなくなりました。その後「物が取られてしまった」や「鍵をなくしてしまった」という事が多くなり、ほとんど毎日のように次男様に20〜30回の電話をするようになりました。



*デイサービスでの様子
送迎…送迎の前に電話連絡を行い、準備をして待機して頂いています。時間通りに準備されて、スムーズに車に乗車して出られる事もあります。しかし、「鍵が見当たらないの」と言われ、探している事があり、中々、車に乗る事が出来ない時もあります。
朝の会…来室されると、皆様とお話や脳トレをしたり、歌つたりとても楽しそうに過ごされています。体を動かす事も嫌がらず、元気に体操をされています。他の方と話される事や何かを一緒にする事が好きで、話し出すと時間を忘れて話されています。排泄…自分のペースで行かれますが、声掛け等の際にも「さつき出たけど、行っておこうかしら」と心配して行かれる事もあります。
食事…「美味しい」と言われ、ほとんど完食されていますが、おかずを少量残す事があります。食事中は周りの方々と話しながら、楽しそうに召

し上がっています。午後のプログラム…どのプログラムにも笑顔で参加されて、周りの方と楽しんでいます。特に作品作りでは熱心に取り組みられています。いい物を作ろうという思いから時間を忘れてしまうほどに集中されています。ボーリングや輪投げ等のプログラムでは周りの方がいい得点を出すと「すごいわね、ああ、こうして」等から上手なのね」と等と言って、他の利用者さ



も参加しています。またご自宅での様子にも変化があり、以前よりも次男様に電話をする回数が減り、多くても7、8回位になったとの事です。デイサービスで他の利用者様やスタッフとの会話により、ご自身の活力にもなり、話し相手がいる事で時間を忘れて皆さんと過ごされる刺激がとてます。
*今後について

んをよく称賛する事があります。
*デイサービスに来てからの変化
利用当初は歌等レクリエーションには参加されていましたが、入浴を拒否されたり、リハビリを拒否されてきました。最初のほうは中々、環境には全てに慣れるのは難しいようでしたが、次男様からも入浴の事を話して頂く事で、入って頂けるようになり、リハビリにも

「デイサービスに来ると楽しくて、1日があつという間なのよ。家に居るとテレビを観たりするくらいで1日が長く感じるのよ」と言われています。楽しく来室が出来るようになって、他の方と話す機会も多くなり、会話がとても多くなっています。デイサービスで他の利用者さんと会い、刺激になる事が楽しみであり、励みにもなるようで、今回の話しを聞いた時に「今、こうして皆さんと会えるのがいいのよ」と言われていました。笑顔で過ごされる事が見受けられているので、今後も不安がなく過ごされるようにし、デイサービスに来室してもらいたいと思います。

②グループホームの今
12月・1月の状況、職員1名外出中、転倒入院、3月、勤務再開。ボランティアさん1名、家庭の事情でお休み。1月30日（水）外部評価準備しています。12月12日、南大師中学生、職場体験、入浴後のドライヤー、食事の配膳行ってくれた。
楽しかったと言われていた。1月、富士見中学生職場体験、職業としての参考にしたいと話していた。
12月15日キデイ保育園2、3名参加。
長期ショートステイ1名。
昨年はインフルエンザで入院あったが今年はまだない。去年から加湿器を入れ、1日水を10L入れている。



③デイサービス・デイケア・グループホーム家族相談会
野々目様（姉を介護）・娘がいるので助かってい。私より、娘の言う事は聞いてくれる。年金の事は忘れていない。年金の月になると聞いてくる。自分自身ストレスを溜めるのはダメだと思った。年賀状を見て本人が「高津も殿町も良くやってくれる」と言っている。
森下様（母を介護）・精神的に負担度は大きくなってきた。12月末、1月上旬環境を変えようと泊まりやらなかつた。泊まりに行くリズムが崩れてしまう。母と私の気持ちがかみ合わない事があつた。場所が変わると混乱してしまう。私のやり方と泊まりの方のやり方着脱動作等とまどっている。
デイケアに娘と行って、家では見えないおばあちゃんを見る事が出来て良かった。
杉山・デイケアで自分での過ごし方は出来ています。
④介護体験を聞く会の方向を検討します。話し合いに参加、経験さ

れた方に話しを聞く事で



した。また他の方は「その

ままでもよくと後の掃除が大変なのよ」と話していました。

子供達と豆まきをした話などを伺いながら楽しい雰囲気の中、作品作りは進んでいます。

顔のパーツなどは切った物を用意しました。

青鬼や赤鬼、赤鬼・青鬼や色紙はそれぞれ選んでもらい、自由に貼って頂きました。

どこに貼れば良いのかしら等、近くの席の方々と話しながら行っている方、一人で黙々と行う方、様々です。

最後に顔の表情は皆様に書いて頂きました。

同じパーツを使っても出来上がりはそれぞれ違い、個性豊かで素敵な作品に仕上がっています。

他にはない2月のカレンダーの出来上がりです。

「持って帰っていいの？」

「家に飾りたい」と、自分で作った作品に大満足な様子です。

そんな皆様の笑顔を見てると一足早く

デザイナービスに「福が

来た」と感じました。

これからも皆様と一緒に楽しい作品を沢山作って行きたいと思えます。

デザイナービス 吉田

『節分の作品作り』

参考になるかと思えます。

1月末、デザイナービスでは2月の節分に向けて、鬼の貼り絵のカレンダーを作りしました。

鬼とおかめが並んでいますが、作品を作りながら、節分にまつわる色々なお話しを聞く事が出来ました。ある利用者さんは「玄関か窓を少し開けておかないと、鬼が出ていかないわよ」と教えて下さいま

来た」と感じました。これからも皆様と一緒に楽しい作品を沢山作って行きたいと思えます。

デザイナービス 吉田

平成31年1月運営推進会議

参加者

介護体験を聞く会に参加した方全員

*グループホームからの報告

12月は南大師中、1月は富士見中の学生の職場体験の受け入れをして利用者さんと一日過ごしてもらいました。

ドライヤーをかけてもらったり、朝の会と一緒に参加。お散歩では車椅子の操作体験、食事の配膳、盛り付けをやってもらいました。

12月にはキディ保育園のクリスマス会に招待されて利用者2名の方が参加しています。

現在では体調不良者はいなく健康に過ごしています。

12月は1週間ずつ検査入院されましたが検査結果問題ありません。

ショートステイ1件受け

入れをしています。1月30日には年1回の外部評価があり準備をすすめています。

以上

記録、作成者 板井

メニエール体験前後記。

一昨年正月に一度体験したメニエール病を2年後のこの2月に再度体験しました。

共通しているのは寒さの環境がありま

す。2年前は山形県の雪の正月の宿にいったとき

です。今年の2月はやはり

川崎は寒波やインフルエンザの最中でした。

体験者でなければわからないのですが、布団から立ち上がれないのです。

たとえたちあがってもまともに歩けない。天井がまわり、地球が回っているという感じです。

自身の観察では眼球が激しく一方方向に眼振をして

いる印象。さらに一度は嘔吐しました。

しかしめまい、耳鳴り、吐き気

ほとんど胃の中は何もないので、唾液だけをコップ

た。自分は漢方で治療をして

いるので、これ幸いと

考えました。まず吐き気を

とることを考えて半夏

厚朴湯と茯苓飲を合方で

飲み、その後食事がとれる

ようにして、今度は真

武湯を2、3日続けて回復

しました。

たまたま2月の10日に中華街に行き、むかし

仕事でお世話になった大

塚橋診療所を見たかった

のですが、連休で観光客

が多く、駐車場も入れず、

山下埠頭の臨時駐車場に

どうにか止められた。空

腹の状態でも神経をつかっ

て走ったことも要因の一つ

だと思ふ。大きな発作

が起きたのは夜中の1時

くらいだった。11日は

建国記念日でまる一日寝

てました。

12日には仕事にでれた

のは漢方薬の効果だと思

います。あの発作のあり

かたはしばらく入院が必

要だった。自分ながら漢

方薬はありがたいと思

ました。もともと前に山形に行つたのは、回想法を高齢者

介護に取り入れる目的で北前船の寄港地である山形や新潟に昔のなごりを見に行くためでした。あちこちになごりとともに、その文化や風習や伝統がのこり、さらには現代社会の中で活かされ、生きていました。(柳田)

今年の目標

新年を迎え、半月があつたという間に過ぎました。グループホームは変わらず皆さん元気に過ごされております。去年を思い返すと色々な出来事がありました。大変な事、嬉しかったこと、失敗したこと等ありました。人の世話というものは難しいと感じた一年でした。皆さんから学ぶ事も多く日々勉強になっています。利用者さんの中には入居されてまだ3ヵ月位の方もおり、日々変化していく中で柔軟に対応できるグループホームになれるよう職員力を合わせ作っていきたくと思っています。グループホーム旭町 板井

新人紹介

10月よりグループホームで勤務しております川村と申します。母親の介護の為離職した所、短い期間で施設への入居が決まり仕事を探していただきました。母親が以前デイサービスでお世話になっていました。縁で、今回私自身がお世話になる事になりました。

3ヵ月間の研修を受け、実際に従事してみると机上での勉強とは大違いで勉強の毎日です。利用者の皆さんにはまだまだ満足はいくサービスを提案が出来ていないと思いましたが職員の皆さんから指導、アドバイスをもらいながら知識、技術を習得し、日々頑張っていきたいと思います。そして利用者の皆さんに向き合い、その人らしい生活を送れるお手伝いをしていきたいと思っています。

グループホーム旭町 川村

「新人紹介」
グループホームで働かせて頂いております高橋

かおりです。昭和48年生まれの45歳、愛知県出身です。高校1年生の息子と小学校5年生の娘がおります。4年弱有料老人ホームで勤務していました。私が介護士になつたきっかけは義母への後悔と周りの方々への感謝、自分でも何かお役に立てることがあるかもしれないと思つたことでした。当時息子が小さい頃、近くに住む義母に認知症の症状が現れ始め、持病も重なり要介護状態になりました。私は育児や別の仕事をしており、介護の知識もありませんでした。訪問看護、介護の看護師さん、ヘルパーさんに大変お世話になり、義母は要介護状態になり8年程で亡くなりました。グループホームの入居者さんは人生の大先輩です。皆さんが楽しく暮らして頂ける様、努力します。

グループホーム旭町 高橋 かおり

「獅子の舞に魅了！」

去る、1月8日藤崎保育園さんのご招待を受け、利用者さん代表二名の方と見学へ行つた。「楽しみだわ。」「獅子舞なんてあまり見られないわよね。」「なんか貴重ですよ。」などと三人でおしゃべりしながら歩く事4分。園庭に到着した。そこに集まる園児さん達を見るなり「わあ、可愛いわね。」「ほんとねえ。」と利用者さんの目尻が下がる。暫く園児さん達の可愛らしい姿を見ていると、いよいよ獅子舞のお出ましの時が来た。いきなり気迫に満ちた動きで現れたかと思うと時折見せるコミカルな動きに「あら!」「うわあー。」「あらら。」「アハハ…」と思わず声が出てしまう程。次々展開する『獅子の舞』に観客皆が魅了される。見学後は獅子舞に頭を噛んで貰つた。(*)



節分の作品づくり

ルバーカーをお使いの事。だが、この日、お一人は杖。もう一方(ひとかた)は何もご使用されずに歩行された。)とても安定感があり見事な歩き振りだった。(*)獅子舞が人の頭を噛む事によってその人についた邪気を食べてくれる。魔除け。厄除け。疫病退治。神がつく(=噛みつく)。今年一年、皆様にとつて良い年であります様に。デイケア 三浦